

鶴岡市郷土資料館の概要

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に郷土の文化遺産、とりわけ文献資料を取り扱う県内最初の文書館的施設として設置された。設置目的は、それまで図書館で収集してきた郷土資料を末永く保存するとともに、散逸・消滅の危機にさらされている民間の資料を調査・収集・受託し、これらに本格的な整理を施して一般の利用に供するというものである。また「鶴岡市史資料編」刊行のための事務局も兼ね、図書館・市史編纂室と三者一体となって運営されることになった。

その後、昭和60年新図書館の竣工・開館にともない、展示機能だけを残して、ほとんどの業務は新図書館の郷土資料室に移された。平成11年度からは展示機能も移され、さらに建物の解体に伴い、平成20年1月より名実ともに図書館2階に併設となり、史料の所在調査・収集・整理・保存・閲覧・展示・参考相談、各種講座の開催などの業務を行っている。

収蔵文書の代表的なものをあげれば次の通りである。

- 幕領角田二口村の名主・酒造家佐藤家の「二口文書」(4,600点余 典籍1,571冊)
- 温海組13ヶ村の大庄屋・本間家の「温海文書」(1,375点)
- 清川組などの各地の大庄屋を勤めた斎藤家の「清川斎藤家文書」(3,800点)
- 鶴岡城下の町人町を総括していた町大庄屋の「宇治家文書」(358点)
- 酒田の廻船問屋「鑑谷家文書」(563点)「尾関家文書」(1,679点)
- 藩庁文書を分類・整理した「閑散文庫」(206冊)
- 家老の「竹内家文書」(職務日誌など1,128点)
- 藩の公式文書を取扱った右筆「辺見家文書」(402点)
- 加茂の大地主「秋野家文書」(25,000点)
- 大山の酒造家・村役人「羽根田家文書」(4,019点)
- ワッパ騒動に関する「森藤右衛門文書」(132点)
- 心学の普及に尽くした荒井和水の「荒井家心学史料」(167点)
- 郷土史家「阿部正己文庫」(松山藩史料や北海道史料を含む。5,030点)
- 自由律の俳人「渡会愚守史料」(860点)
- 軍人思想家「石原莞爾史料」(遺品・原稿・関係文献8,410点)
- 郷土の近世近代史研究家「佐藤誠朗文庫」(書籍・原稿・関係文献8,100点)
- 北海道開拓使大判官をつとめた「松本十郎史料」(3,535点)
- 郷土写真分類表(4,300点)

このほかに、京田・湯田川・関根・堅苔沢・大網など各地区の地方文書、藩校致道館の蔵書、旧鶴岡町役場資料などの行政文書など、その総数は447件・約23万点(未整理を含む)に上っている。

なお、これらの古文書で寄託された史料のうち、一部については『諸家文書目録』(12冊)に収録され、刊行されている。

令和5年度 郷土資料館事業実施状況

事業名	対象	事業内容	実施時期(参加人数)
企画展	一般	「近世鶴岡の俳諧展」	令和5年5月3日 ～9月18日 135人
		「高嶋清明写真展『庄内の昆虫たち』」	令和5年9月26日 ～12月10日 162人
		「近世庄内の旅人 全国諸街道を闊歩する展」	令和6年1月24日 ～5月20日 94人
歴史講演会	一般	「庄内の蘭学者・小関三英 ～その生涯 と功績、庄内地域との交流～」 講師 矢森小映子氏 (日本近世史研究者)	令和6年3月16日 参加者 26人
郷土史講座	一般	「鶴岡高等女学校の歴史」 講師 阿部博行氏 (鶴岡市史編纂委員)	令和6年3月23日 参加者 30人
古文書解説講座	一般	くずし字で書かれた史料を読むこと によって、歴史の魅力を体感し、 先人のらしを学ぶ講座 講師 郷土資料館職員	令和6年1月13日、 20日、27日 参加者 60人

令和6年度 郷土資料館主要事業

事業名	対象	事業内容	実施時期
企画展	一般	「真嶋雄之助・佐藤与之助展」	令和6年7月26日 ～10月6日
		「ワッパ騒動展」	令和6年11月～ 令和7年1月
		山形県立博物館による企画展	令和7年1月～3月
歴史講演会	一般	(仮題)「戦国時代の領主が発行した証文 について －出羽大宝寺氏の事例から考える－」 東京大学史料編纂所 畑山周平 氏	3月8日
古文書解説講座	一般	崩し字を読むことで、郷土の歴史理解を 深める	1月
郷土史講座	一般	地元の研究者による郷土の歴史や文化に 関する講座	3月

鶴岡市立図書館協議会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	粕 谷 温 子	女	鶴岡市小学校長会（朝暘第二小学校長）
2	和 田 俊 江	女	朗読ボランティアわらしべの会
3	井 上 裕 子	女	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
4	草 島 陽 子	女	社会教育委員
5	池 田 達 枝	女	中央公民館運営審議会委員
6	宮 島 昭 子	女	学識経験者
7	五十嵐 武	男	学識経験者
8	三 浦 洋 介	男	学識経験者
9	本 間 積	女	学識経験者
10	安 藤 幸 子	女	学識経験者
	鈴 木 邦	女	ボランティア「アナンシ」会長
12	小野寺 せ つ	女	学識経験者
13	鈴 木 和 子	女	ボランティア「温海絵本読み聞かせ隊ポッケ」代表

◎任期 令和5年9月1日から令和7年8月31日まで

郷土資料館運営委員会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	阿 部 博 行	男	鶴岡市史編さん委員
2	佐々木 勝 夫	男	元小学校長、庄内文化センター講師
3	齋 藤 和 久	男	元高校長
4	渡 部 幸	女	出羽三山歴史博物館学芸員
5	本 間 豊	男	致道博物館学芸部長
6	升 川 繁 敏	男	元小学校長、鶴岡市史編さん委員
7	黒羽根 洋 司	男	学識経験者
8	森 木 三 穂	女	鶴岡工業高等専門学校助教

◎任期 令和5年9月1日から令和7年8月31日まで

鶴岡市子ども読書活動推進委員会 委員名簿

No.	氏 名	性別	所 属 ・ 役 職 等
1	井 上 裕 子	女	おはなしボランティア「おはなしポケット」会長
2	渡 邊 敦	男	株式会社 SHONAI KIDS DOME SORAI 館長
3	三 浦 洋 介	男	学識経験者
4	谷 江 る み	女	民田保育園主幹
5	粕 谷 温 子	女	鶴岡市小学校長会（朝陽第二小学校長）
6	佐 藤 大 吾	男	鶴岡市中学校長会（櫛引中学校長）
7	兼 子 由 香	女	山形県立鶴岡中央高等学校長
8	高 田 美 佳	女	鶴岡市 P T A 連合会母親委員長
9	富 田 喜美子	女	公募委員

◎任期 令和6年8月1日から令和8年7月31日まで

